

ルーテル^{きょうかい}教会CSの^こ子どもたちへ

イースターおめでとう!

お家の人と聖書を開いてみよう。うれしい知らせが届いているよ。

死んだイエスさまがよみがえって、マリアさんとお弟子たちの前にあらわれたって。ここにも、来てくれるかなあ。さんびかを歌い、お祈りをしてみよう。わたしの声を聞いて、ほら、イエスさまが「おはおう」と、声をかけてくださる。

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐れみは決して尽きない。

それは朝ごとに新たになる」(哀歌3:22)



まねきのことば

司会) 神は聖なる宮にいます。

みなしごの父となり

みんな) やもめの訴えをとりあげてくださる。

司会) 神はこどくな人に身をよせる家をあたえ

とらわれ人をみちびきだして

みんな) きよいところに住ませてくださる。

司会) 主をたたえよ

みんな) 日々、わたしたちをにない、救われる神を。

司会) この神はわたしたちの神、

みんな) 救いのみわざの神

全員) 主、死からときはなつ神。アーメン

4月12日 *新共同訳聖書・こどもさんびか改定版を使用、〈 〉は旧こどもさんびかさんびか 86 よあけのほしが 〈旧40よあけのほしが〉

まねきのことば

せいしよ マタイふくいんしよ 28しょう1~10せつ

メッセージ

おいのり・しゅのいのり

さんびか 89 キリスト・イエスは 〈旧41すくいのぬしは〉

「おはよう」めざめの朝^{あさ}

イエスさまが死んでしまった。なんと悲しいことでしょう。マリアたちは十字架の上でイエスさまが息をひきとる姿を見ました。胸がはりさけそうな思いになりました。苦しくて、悲しくて、しかたがありません。けれども、安息日が近づいたので、イエスさまはお墓におさめられました。マリアたちはイエスさまのなきがら(お体)にも会うことができず、悲しみながらお家へ帰りました。3日目の朝、安息日があけると「イエスさまはどうなったのかしら?」、マリアたちはいそいで墓へ出かけました。イエスさまのなきがらのそばにいたかったのです。

すると地面がゆれ、ガタガタ・・・地震です。お墓の入口をふさぐ大きな石が横へころがり、墓の入口が開きました。見ると、大きな石の上になちよこんと天使が座っています。み使いは言いました。「恐れることはない。あの方はここにはおられない、復活なされたのだ」。

うれしい知らせに、マリアたちはいそいでペトロと弟子たちに伝えようと走り出しました。すると、行く手にイエスさまがあらわれ「おはよう」と、マリアたちにあいさつをされました。マリアたちは喜びのあまり、イエスさまの足を抱きしめました。み使いの告げる言葉は、本当だったのです。イエスさまはよみがえり、生きておられました。そして、イエスさまは「おはよう」と、信じる人々とあいさつを交わされます。

聖書を開いて、み言葉を読み、今朝もイエスさまに「おはよう」のあいさつをしましょう。「イエスさま、おはようございます」。めざめの朝は、イエスさまが生きておられることを知って、イエスさまのみ名によって祈りのあいさつを交わします。めざめよ、父に愛されている神の子どもたち!

祈り イエスさま、暗い夜にも、明るい朝にも、

いつもわたしのそばにいて、わたしの魂を見守ってください。アーメン